

# CITY X UNIVERSITY



大阪市立大学広報誌

Vol.15

May • 2014



Vol.15 CONTENTS

## ●P1 新役員・大学執行部 ご挨拶 平成26年度のスタートにあたって

## ●P3 学部長・研究科長よりメッセージ 新入生のみなさんへ

### ●P5 OCU NEWS BOX

「MedCity21 (あべのハルカス21階) 開所式」を举行  
「理系学舎新棟竣工記念式典」を举行  
慢性疲労症候群と脳内炎症の関連を解明

### ●P5 大学トピックス

タマサート大学(タイ)と大学間協定並びに部局間協定を締結  
「高校生・化学宣言PART7」を発刊

### ●P6 @ Campus [アットキャンパス]

本学学生が留学生との交流会を企画!  
日本新聞協会「HAPPY NEWS PERSON」で本学留学生が表彰  
白馬セミナーハウス40周年記念式典を開催  
学生の受賞情報  
なにわすまいるず 復興支援シンポジウム~寄り添い、学び、教訓を備えに~

●裏表紙 OCUインフォメーション  
公開講座・イベントのお知らせ



# 平成26年度のスタートにあたって



前列左より 柏木孝副理事長、西澤良記理事長・学長、石河修理事・医学部附属病院院長  
後列左より 安本吉雄理事、宮野道雄理事・副学長、桐山孝信理事・副学長、大嶋寛副学長、井上徹副学長

にしざわ よしき  
**西澤 良記**

理事長・学長

Yoshiki Nishizawa

「都市大阪のシンクタンク、都市科学分野の教育・研究・社会貢献」「専門性の高い社会人の育成」「国際力の強化」の重点三戦略を核とする第二期中期計画が今年度3年目を迎えています。なかでも、特に重視すべきは「国際力の強化」であると考えています。国際化戦略本部を中心に、世界で活躍するグローバル人材の育成、国際交流の充実による英語力の強化、海外

留学の促進など、学生の国際力強化のためのプログラムをさらに推進したいと考えています。その一貫として、「はばたけ夢基金」を活用した海外留学・渡航支援制度を新たに開始いたしました。学内に世界中から優秀な学生や研究者が集う環境を整え、海外プログラムと効果的に接合させることにより、世界的な視野と行動力を併せ持つ人材を養成したいと考えています。

大学の使命は、教育・研究・社会貢献と言われ、各大学は、中期計画という形で社会にそのめざす姿を示しています。市大はその計画で、三つの重点戦略として掲げています。①都市科学の展開、②専門性の高い社会人の育成、③国際力の強化。一方、社会に目を向けると、少子高齢社会への急速な進展、

2020年の東京オリンピックの開催など、我が国は10年後に大きな節目の時期を迎えます。そういう時代にあって市大が大学という高等機関として、どういった将来像を描き、その計画をどう実行していくかについて、西澤学長とともに説明責任を果たせるよう全力を傾けていきたい。

かшивぎ たかし  
**柏木 孝**  
副理事長

Takashi Kashiwagi

きりやま たかのぶ  
**桐山 孝信**

理事・副学長

Takanobu Kiriyama

グローバル人材とは、自らが暮らす地域（ローカル）への貢献を果たすとともに、地域を越えて自由に活動し人類の幸福や発展に貢献するグローバルな役割を果たす人材です。市大は、地域との

かかわりを意識した授業や取り組み、国境を越えたコミュニケーション力を強化する授業や研修を提供し、すべての市大生を対象にしたグローバル人材育成を本格的に始めたいと思います。



みやの みちお  
**宮野 道雄**

理事・副学長

Michio Miyano

平成25年度に採択された「COC(地(知)の拠点整備事業)」や「博士課程教育リーディングプログラム」を進める上においては、大学と自治体や企業との連携が必須となってきています。したがって、今年度から理事としての担

当分野である研究・地域貢献・国際交流に、産学官連携の視点も含めて推進してまいります。また、若手研究者の育成および女性研究者の研究環境整備を継続して行います。

情報通信技術を教育・研究・社会貢献に最大限活かすことを目標とし、便利で安心して使える情報システム基盤の構築と情報セキュリティの強化を推進していきます。また国際化の推進の一助と

するべく、今年度より「はばたけ夢基金」を使い海外留学・渡航支援事業を創設しましたが、今後の基金の増強に関係各位のご理解をよろしく願います。

やすもと よしお  
**安本 吉雄**  
理事

Yoshio Yasumoto

いしこ おさむ  
**石河 修**  
理事・医学部附属病院長

Osamu Ishiko

医学部附属病院では建学の精神「智・仁・勇」に基づいた基本方針に則り、「誠実で真心のこもった診療」を心がけ、「安心して安全な医療」を提供できる病院をめざしております。最新の医療環境の整備を推進し、平成25年度には高度な心臓血管手術の対応をめざしたハイブリッド手術室システムおよび心臓血管集中治療室(CCU)の整備をしてきました。今春に

は先端予防医療部附属クリニックMedCity21を開設しており、予防医療の実践による健康づくりに貢献する体制を整えました。これに加え、平成26年度にはロボット手術を導入し、今まで以上に大学病院の持つ専門性の高い人材と高度先進医療を活かし、今後も多くの方々の健康を守り、広く社会に貢献できる医学部ならびに附属病院をめざしてまいります。

キャンパスの緑も新しく清々しさを感じる季節を迎えています。目まぐるしく変化する社会の中で大阪市立大学も栄えある歴史の木に新しい芽をつけて、さらに前進しようとしています。このような時期に重責を与えられましたが、西澤良記学長が進められている大学のガバナンス改革、教育

研究戦略機構の設置、国際力の強化、研究科の活動支援などを掲げた「大阪市立大学改革プラン」の早期実行、さらには産学官連携推進などについて職責を果たし、将来を担う人材の育成と研究大学としての大阪市立大学の発展に貢献していきたいと思います。

おおしま ひろし  
**大嶋 寛**  
副学長

Hiroshi Ooshima

いのうえ とおる  
**井上 徹**  
副学長

Toru Inoue

現在、本学に求められているのは、グローバル化の急速な進展と世界的な大学間競争の波のなかで生き残り、発展に導けるような新たな教育研究システムの仕組みを作ることです。世界に通用する高度で幅広い多様な研究を展開し、地域の諸課題の解決に寄与するとともに、地

域に寄り添い、世界を展望する教育、海外派遣制度の充実を通じて、タフでしなやかな感性とバイタリティー、行動力を備える人材を育成することが望まれます。そうした目標を達成すべく、挑戦的で実践的な試みを行っていきたくと考えます。



経営学研究科  
商学部



鈴木 洋太郎 研究科長

大阪市立大学・新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

大学で学ぶ際のアドバイスをさせていただきます。よろしければ、参考にしてください。＜初級レベル＞自分の生活リズムを崩さないように気をつけましょう。最初の半年が大切です。＜中級レベル＞自ら積極的に（能動的に）学習する「くせ」を付けましょう。＜上級レベル＞知的世界を冒険するつもりで、大学の先生とコミュニケーションしましょう！

経済学研究科  
経済学部



森 誠 研究科長

ご入学おめでとうございます。

高校までは答えの確定している問題が問われていました。実際には答えが確定しておらず、論争中、継続して検討中という問題が多々あります。答えが決まっていないという不安になるかもしれません。しかし、そうした問題に対してあれやこれや試行錯誤しながらも自由に考える、それが学問をする醍醐味ではないでしょうか。

大学生生活を満喫してください。

法学研究科  
法学部



守矢 健一 研究科長

期待と不安に胸を躍らせる新入生のみなさん、その胸の鼓動を忘れないでください。現代は先行き不透明な時代だともいわれる。しかし先行きを確実に見通せる時代とは、選択の幅が狭い退屈な時代です。先行き不透明を自由の拡大だと不遜に読み替え、その荒波を航海してゆくための知的な武器を磨くではありませんか。知的に生意気な学生の挑戦を教員が受けて立つことで、教室に散る火花——それが大学の原風景だったはずですよ。

# 新入生の みなさんへ



文学研究科  
文学部



池上 知子 研究科長

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。人間とは不思議な存在です。非常に素晴らしいものを生み出す知恵と力を備えている一方で、とても愚かなことをしてしまう弱さや脆さを見せることがあります。文学部・文学研究科では、このような人間の営みとその所産の本質を、さまざまな観点から考え、人間とは何かを探究するところです。知る喜び、考える楽しさを文学部・文学研究科で存分に味わっていただきたいと思ひます。

理学研究科  
理学部



保尊 隆享 研究科長

ご入学おめでとうございます。皆さんは、理学部に入って、「智の消費者」から「智の生産者」へと正反対の立場に生まれ変わる貴重な機会を得たことになります。この恵まれた環境を生かして、自然の中にある様々な不思議や謎について自ら学び、広く体験して、科学的な見方、考え方、理解の仕方を十分に養ってください。皆さんが立派な「智の生産者」になれるように、教職員一同、全力でサポートします。



工学研究科  
工学部

日野 泰雄 研究科長



人は社会にとって国にとって最も重要な財産です。大学は人を育てる場所であり、その役割を担う集合体です。皆さんが4年後、6年後に社会人として羽ばたいていく、そのための能力を育て、社会での活躍の期待感を共有し、一歩踏み出す勇気を与えてくれるのが市大の教員であり、学友です。人として成長できる市大での学生生活を積極的に謳歌してください。



## 学部長・研究科長より メッセージ

創造都市研究科

柏木 宏 研究科長



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学・大学院でのこれからの数年間は、教員から専門的な知識をえるだけでなく、多様なバックグラウンドをもつ学生同士で学びあうとともに、知識の獲得と獲得後に地域や社会のために貢献していくという意識を持っていただければと思います。己のためだけでなく他者のため、という意識こそが、皆さんの学習意欲を高めるとともに、学ぶことの意味を作りだすと考えます。

医学研究科  
医学部医学科

荒川 哲男 研究科長



医学部に入学おめでとう! 信頼され慕われる医師を目指して、コミュニケーション能力と思いやりの精神に磨きをかけてください。「コミュニケーション」は「物事の伝達」ではなく、「こころの交流」です。「思いやり」は人の思いを感じ、いたわることです。クラブ活動は、この2つの「こころ」を育む絶好の機会です。ぜひ参加して、学生生活を謳歌してください。

生活科学研究科  
生活科学部

西川 禎一 研究科長



生活科学部では、専門性の高い職業人を目指して勉強すると同時に、生活者の幸福度に思いを巡らせ、21世紀の生活パラダイムという未だ見ぬ答えを私たちと共に各自の専門を超えて探っていただきたい。その基礎は、コミュニケーション能力、合理的思考力、積極性等です。これらの力は、専門科目だけでなくグローバルコミュニケーションコースをはじめとする全学共通教育科目と真剣に取り組んでこそ身に付きます。一層の努力を期待しています。

看護学研究科  
医学部看護学科

今中 基晴 研究科長



ご入学おめでとうございます。医学部看護学科は「変わらざる“慈愛の光”ともし継ぎて」の精神を尊重して、優れた看護職者の育成をめざしています。大学では、学位や資格といった目に見える成果を得るだけでなく、豊かな教養と人間性を培い、これからの厳しい時代を生き抜くたくましい力を養っていただきたいと思います。肉体的にも精神的にも若いこの時期に大いに自由を謳歌し、充実した大学生活を送ってください。



## 1 「MedCity21 (あべのハルカス21階) 開所式」を挙

**先** 端予防医療部附属クリニック「MedCity21」の開所式が平成26年4月10日(木)に行われました。

開所式では、西澤良記学長の挨拶に続き、医学部附属病院先端予防医療部副部長の河田則文教授より「MedCity21」の事業が紹介され、最後に開所を記念したテープカットを行いました。

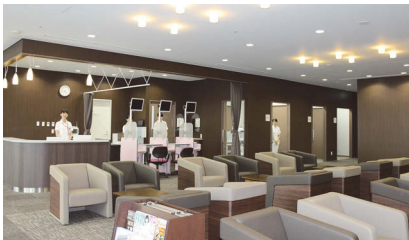
「MedCity21」は、健康増進と疾病の早期発見・早期治療による予防医療の推進、また“未病”段階で疾病を留める

先制医療を実施することを目的に開設されました。立地の良さと大学病院が持つ専門性の高い人材を活かしたクリ

ニックとして、平成26年4月14日(月)より開業しています。

西澤学長による挨拶

「MedCity21」のロビー



## 2 「理系学舎新棟竣工記念式典」を挙

**理** 系学舎新棟竣工記念式典」を平成26年4月10日(木)に執り行いました。記念式典開会に際し、大阪市立大学応援団による演舞が披露され、続いて西澤良記学長の挨拶、竣工を祝うテープカットを行いました。その後、「はばたけ夢基金」の寄付により植樹した桜の

銘板の除幕式、けやき通りの Monumentの除幕式を併せて行いました。

応援団による演舞



除幕式の様子



開所式の模様

## 3 慢性疲労症候群と脳内炎症の関連を解明

**渡** 辺恭良健康科学イノベーションセンター所長らの研究グループは、原因不明の激しい疲労が半年以上も続く「慢性疲労症候群(CFS)」の患者の脳内で炎症が起きていることを確認したことを発表しました。これにより、客観的な

診断や病気のメカニズム解明につながることを期待されます。本研究は、「ザ・ジャーナル・オブ・ニュークリア・メディシン」電子版に掲載されました。

写真左より 水野研究員、中富先生、渡辺所長



## Topics 【大学トピックス】

### タマサート大学(タイ)と大学間協定並びに部局間協定を締結

平成26年2月21日(金)にタイのタマサート大学から総長をはじめ関係者が来学し、協定調印式を執り行いました。今回は大学間協定の他に医学研究科、看護学研究科がそれぞれタマサート大学と部局間協定を締結するという調印式となり、その後の意見交換会でも積極的な交流についての提案が行われました。



西澤学長(左)とタマサート大学のロアトバイタウン総長(右)

### 「高校生・化学宣言 PART 7」 高校化学グランドコンテスト ドキュメンタリーを発刊

「第10回高校化学グランドコンテスト2013」に参加した学生たちの奮闘記! 化学の甲子園を描いた感動ものです。



発行所: 株式会社 遊タイム出版  
定 価: 本体価格1,500円+税



**本学学生が留学生との交流会を企画!**

平成26年4月18日(金)に学生国際交流会が開催されました。この交流会は留学生と日本人学生の相互交流のために年2回行われています。今回は、春季開催としては過去最高となる167人の学生が参加。ゲームや市大アイドルのパフォーマンスを楽しみつつ、お互いの国の文化や習慣の違いを知り、相互理解を深める場となりました。



写真(左) 交流会を企画した学生ボランティアスタッフ「OGM」のメンバー 写真(右)「人探し」ゲームで親睦を深める学生たち

**日本新聞協会「HAPPY NEWS PERSON」で本学留学生が表彰**

平成26年4月3日(木)、杉本キャンパス1号館前の中庭において、日本新聞協会「HAPPY NEWS 2013」の「HAPPY NEWS PERSON」に選ばれた中国人留学生 巖俊さん(経済学研究科)が表彰されました。



左より 河野俊史氏(毎日新聞社常務取締役大阪本社代表)、巖俊さん、西澤学長

**白馬セミナーハウス40周年記念式典を開催**

平成26年3月15日(土)に長野県北安曇郡白馬村の大阪市立大学白馬セミナーハウスにおいて、創立40周年記念式典が開催されました。



40周年を迎えた大阪市立大学白馬セミナーハウス

**学生の受賞情報**

平成26年2月24日(月)

**大阪対がん協会「平成25年度がん研究助成奨励金」を大学院医学研究科 肝胆脾外科学 野沢彰紀さんが受賞**

研究タイトル 『分子生物学的解析に基づく胆管癌発癌の分子機構の解明とリスク評価法の確立』

平成26年3月2日(日)

**奥山知香子さん(理学部地球学科4回生)が文部科学省主催「第3回サイエンス・インカレ」にてポスター発表部門のサイエンス・インカレ奨励賞を受賞**

研究タイトル 『過去20万年間の琵琶湖堆積物記録に基づく気候と人間活動が林野火災に与える影響評価』

**なにわすまいるず 復興支援シンポジウム ～寄り添い、学び、教訓を備えに～**

「なにわすまいるず」は、大阪市大医学部教職員と学生によるボランティアグループで、医療支援でご縁のあった岩手県大槌町の中高一貫校へ奨学金を贈る活動を行っています。本シンポジウムでは、大槌町の皆様、子ども達…被災された方々へと思いを馳せながら、これまでに学んだことを振り返り、新たな学びと来たるべき日への備え、そして未来に想いをつなげます。多くの皆様のご参加をお待ちしています。



日時：平成26年6月16日(月) 17時～  
 場所：医学部学舎4階大講堂  
 参加費：無料  
 募集人数：先着250名  
 詳細：<http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/event/2014/33bhqs> をご覧ください





## 公開講座・イベントのお知らせ

お申し込み方法・締め切り日など、詳しくはホームページをご覧ください。  
<http://www.osaka-cu.ac.jp/ja>

## 7・8月夏期講座 「学問の先達は語る」

本学で長年研究と教育にあたってきた名誉教授たちが、一般の方々に向けてわかりやすく講義します。

- 会場：大阪市立大学 文化交流センター ホール(大阪駅前第2ビル 6階)  
TEL 06-6344-5425
- 定員・対象：16歳以上の方。各回120名、先着順
- 参加費・受講料：1回500円(大阪市立大学の学生は無料)

## 「小型ロボットの世界」

- 日時：平成26年7月22日(火) 18:30～20:00
- 講師：大阪市立大学大学院工学研究科 教授 細田 誠

## 「現代中国の自動車産業—現状と課題」

- 日時：平成26年8月7日(木) 18:30～20:00
- 講師：大阪市立大学 名誉教授 佐々木 信彰

## 「インターネット検索による英語学習」

- 日時：平成26年8月22日(金) 18:30～20:00
- 講師：大阪市立大学 名誉教授 衣笠 忠司

## 「花を咲かせるホルモン」

- 日時：平成26年8月25日(月) 18:30～20:00
- 講師：大阪市立大学大学院理学研究科 教授 平澤 栄次

## 平成26年度 大阪市立大学国際学術シンポジウム

### 包摂型創造都市と文化多様性

毎年、各分野トップクラスの研究者を国内外から招待して開催する国際学術シンポジウム。本年度は「包摂型創造都市と文化多様性」を共通テーマに、UNESCO副事務局長(文化担当)のバンダリン氏をはじめ著名な都市文化研究者を招いて、様々な視点からご講演をいただきます。また3日目には近郊の植物園を視察し、地域住民を巻き込んだ取り組みや国際的協働についても議論を深めます。

- 開催日時：平成26年7月22日(火)～24日(木)
- 開催場所：大阪国際交流センターほか
- 主催：大阪市立大学(都市研究プラザ)
- 共催：公益財団法人 大阪国際交流センター、都市創造性学会(AUC)、大阪市立自然史博物館
- 後援：UNESCO、国際花と緑の博覧会記念協会、大阪ガス

#### ◆プログラム 共通テーマ：「包摂型創造都市と文化多様性」

- 大阪市立大学・国際学術シンポジウム  
第5回 国際ラウンドテーブル会議『都市の世紀を拓く』
- 7月22日(火) 基調講演  
 ●アーリング・ノルビ  
 (カロリンスカ研究所教授・ノーベル賞常任事務局長を歴任)  
 ●フランシスコ・バンダリン(UNESCOパリ本部、副事務局長)
- 第3回 国際都市創造性学会(AUC)世界大会  
基調講演
- 7月23日(水) ●リリー・コン(シンガポール大学副学長)  
 ●アンディ・プラット(ロンドン市立大学教授)  
 ●クサビエ・グレブ(パリ第一大学(ソロボンス)教授)
- 7月24日(木) エクスカーション・植物と市民を囲む会  
 大阪市立自然史博物館・植物園  
 大阪市立大学理学部附属植物園

大阪市立大学広報誌

CITY  
X  
UNIVERSITY  
Vol.15

発行：公立大学法人 大阪市立大学  
 企画・編集：大学広報室(企画総務課広報担当)  
 デザイン協力：desk  
 発行日：2014年5月

本誌に関するお問い合わせ・ご意見・ご感想は  
 大阪市立大学 大学広報室  
 〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138  
 tel:06-6605-3411 fax:06-6605-3572  
 e-mail: t-koho@ado.osaka-cu.ac.jp  
 本誌に掲載の写真および原稿の無断転用を禁じます

グローバルな都市研究・教育拠点



大阪市立大学  
OSAKA CITY UNIVERSITY

#### 杉本キャンパス

商・経・法・文・理・工・生活科学 各学部・各大学院研究科・本部  
 〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138

#### 阿倍野キャンパス

医学部・大学院医学研究科・大学院看護学研究科・医学部附属病院  
 〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3

#### 梅田サテライト

大学院創造都市研究科・文化交流センター  
 〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-600 大阪駅前第2ビル6階

<http://www.osaka-cu.ac.jp>